

氏名

点／100点

【問 1】次の各文の内容が正しい場合は「○」を、間違いの場合は「×」を答えなさい。〔各 2 計 40〕

- (1) 論理演算子&&は「かつ」の演算を行います
- (2) 論理演算子の演算結果の型は int 型です
- (3) 条件演算子 ? : は 4 項演算子です
- (4) 条件演算子 ? : の演算結果は常に int 型です
- (5) for 文は分岐文です
- (6) do while 文は前判定ループです
- (7) for 文の「更新の式」は、最初に 1 度だけ実行されます
- (8) 後判定ループは必ず 1 度は繰返し処理部が実行されます
- (9) break 文を用いると実行中の繰返し文から抜けることができます
- (10) 変数のスコープとはその変数を参照可能なコード上の領域です
- (11) 配列は同じ型の複数の変数を管理できます
- (12) 1 次元配列の最初の配列要素の指定は添え字に 1 を書きます
- (13) 1 次元配列の配列変数に.length をつけると指定可能な添え字の最大値が得られます
- (14) 1 次元配列の添え字に 99 を指定すると最後の配列要素を参照できます
- (15) 1 次元配列の配列変数に.length をつけると配列要素数が得られます
- (16) 一般に n 次元配列の配列要素を指定するには n 個の添え字が必要です
- (17) 配列変数は基本型変数の 1 つです
- (18) 基本型変数には int 型や double 型があります
- (19) クラスのメンバーの数は 0 または 1 個です
- (20) クラスのオブジェクトは加算演算子 (+) を用いて確保します

■解答欄 1

1	○	2	×	3	×	4	×	5	×
6	×	7	×	8	○	9	○	10	○
11	○	12	×	13	×	14	×	15	○
16	○	17	×	18	○	19	×	20	×

【問 2】論理演算子を用いたコードです。各コードを実行した直後、変数 b が true となるよう空欄を true または false で埋めなさい。変数 b が true にならない場合は「×」を答えなさい。〔各 2 計 10〕

- (1) boolean b = (! (1)) == (1) ;
- (2) boolean b = false || (2) ;
- (3) boolean b = (false == (3)) || false;
- (4) boolean b = (false && false) || (4) ;
- (5) boolean b = (false ? false : true) != (5) ;

■解答欄 2

1	×	2	true	3	false	4	true	5	false
---	---	---	------	---	-------	---	------	---	-------

【問 3】次は繰返し文を用いたコードです。各コードを実行したときの画面出力を答えなさい。何も画面出力されない場合は「×」を、記号または数値が無限に表示される場合は「∞」を解答欄に記入しなさい。〔各 2 計 12〕

(1) int i=1; while(i<2){i++;System.out.print('*');}

(2) int i=5; while(i<2){System.out.print('*');i-=2;}

(3) int i=5; do{System.out.print('*');i--;}while(i!=2);

(4) for(int i=0; i<4; i+=2){System.out.print('*');i--;}

(5) for(int i=1,j=0; i-j<3; i+=2,j++) System.out.print('*');

(6) for(int i=0; i<3; i++)
for(int j=i; j>0; j--) System.out.print(j);

■解答欄 3

1	*	2	×	3	***	4	****	5	**	6	121
---	---	---	---	---	-----	---	------	---	----	---	-----

【問 4】次は配列の初期化を行うコードです。配列を初期化した後に以下の各コードを実行したときの画面出力を答えなさい。〔各 2 計 12〕

int[] ary1={4,3,2,1};

int[][] ary2={{0,1,2},{3},{4,5}};

(1) System.out.print(ary1[1]);

(2) System.out.print(ary1[ary1[3]]);

(3) System.out.print(ary1[ary1.length-2]);

(4) System.out.print(ary2[0][2]);

(5) System.out.print(ary2.length);

(6) System.out.print(ary2[2].length);

■解答欄 4

1	3	2	3	3	2	4	2	5	3	6	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【問 5】下のコード 1 において〔★〕の部分を(1)~(4)のそれぞれに置き換えて実行したときの画面出力を正確に答えなさい。〔各 2 計 8〕

(1) if(i!=j)continue;

(2) if(i*j==2)break;

(3) if(i>j)continue;

(4) if(i+j>2)break;

■コード 1

1: for(int i=0;i<3;i++){

2: for(int j=0;j<3;j++){

3: 〔★〕

4: System.out.print(j);

5: }

6: System.out.println();

7: }

■解答欄 5

1	0 1 2	2	012 01 0	3	012 12 2	4	012 01 0
---	-------------	---	----------------	---	----------------	---	----------------

【問 6】次は変数に関する説明文です。選択肢より適切な単語を選び空欄を埋め説明文を完成させなさい。空欄〔5〕は数値を答えなさい。〔各 2 計 10〕

〔変数について〕

変数には〔 1 〕変数と〔 2 〕変数があります。int 型や double 型の変数は〔 1 〕変数であり、〔 3 〕変数やクラス型変数は〔 2 〕変数です。基本型変数には値が格納され、参照型変数には値と変数を関係付ける〔 4 〕が格納されます。例えば、コード 2 を実行した後の a[0] の値は〔 5 〕です。

■コード 2

1: int[] a={1,2,3};

2: int[] b=a;

3: b[0]=0;

■選択肢

int 型 基本型 参照型 配列 添え字 参照 クラス オブジェクト

■解答欄 6

1	基本型	2	参照型	3	配列	4	参照	5	0
---	-----	---	-----	---	----	---	----	---	---

【問 7】次は 1 から 4 の 4 段階評価のアンケート結果を集計するコードと実行結果です。空欄を適切に埋めてコードを完成させなさい。〔各 2 計 8〕

■コード 3

01: class Final07{

02: public static void main(String[] args) {

03: int[] data={1,3,2,2,1,3,4,1,2,4,3,4,1,3,3,2};

04: int[] stat;

05: stat = (1) int[4];

06: for(int d:(2))

07: stat[(3)]++;

08: for(int i=0;i<stat.length;i++)

09: System.out.println("選択肢"+(i+1)+" : "+stat[(4)]+"件");

10: }

11: }

■実行結果

選択肢 1 : 4 件

選択肢 2 : 4 件

選択肢 3 : 5 件

選択肢 4 : 3 件

■解答欄 7

1	new	2	data	3	d-1	4	i
---	-----	---	------	---	-----	---	---

「お疲れ様でした!!」

☆☆独自アンケートへの回答のお願い☆☆

本講義で実施しました裏面記載の各取り組みについてみなさん
のご感想を是非お聞かせください。
裏面の各項目について 5 段階でご記入をお願いします!!
※みなさんの成績には影響しません